

# みずほ通信

平成27年3月1日

## 平成27年3月の行事予定

卒業シーズンがめぐってきました。  
3月は、出会い、別れ、そして旅立ちの季節です。  
この春、65歳の友のケータイ電話が、  
スマートフォンに変わりました。  
友も素敵に進化しています。  
春スタート。 よーい ドン！



日	月	火	水	木	金	土
1 面会日	2	3	4 職員研修	5 園内診療	6	7 コンビニ外出
8 希望外出	9	10 工賃支給	11	12 園内診療	13	14
15	16	17	18	19 避難訓練 園内診療	20	21 コーヒーサービス
22	23	24	25	26 食事会 絵画教室 園内診療	27 誕生日	28
29	30	31				

## 【今月の作品】

前回の活動が非常に楽しかったので、  
もう一度トライしてみました。  
台紙にギャラリー風に作品を張ってみると  
なお一層一人ひとりの個性が輝きを増しました。  
山本まち子さんは、少し震える手で  
大好きなピンクや赤のクレパスを握って  
描きました。描きながら「きれい！」「きれい！」  
と嬉しそう。  
その時間を自分流に楽しむことのできる人  
いいなあ～と思います。

(解説 小川直美先生)

1月21日(水) 参加者17名

山本まち子さん



## 4月5日(第一日曜日) 学園祭

ご家族の皆様のご協力を、よろしく申し上げます。

## 【旅行担当記】

(金子穂那美 支援員)



私が初めて旅行担当を任されたのは一昨年だった。  
先輩職員について、担当の業務を教えてもらい3回目に独り立ちした。

担当の事前業務は、旅行冊子作りが主となり、その為に旅行会社の方や上司と打ち合わせを行ったり、下調べを行ったりする。私が大好きなのは下調べの段階である。

知らない土地の魅力を知っていくと、わくわくとした胸のときめきが止まらない。  
行先の温泉の効能や、おいしい食べ物、観光名所を調べたりして、一人で先に旅に出た気分になる。

主に、ひまわり班の方が行く近場の旅行では温泉が多く、スマイル班の方が主になる旅行では観光がメインになる。  
どちらも好きなのだが、泊数の多いスマイル班の旅行は担当のやりごたえがある。

利用者の方により喜んでいただけるよう観光名所の説明や写真、人気のお土産や有名な食べ物をまとめた冊子を作ったが、自分自身も、とても楽しんで作っている。

当日は、添乗員さんと一緒に旅行を盛り上げていく。その場、その場に応じた臨機応変な対応が求められるのだが、一瞬で物事を判断するのが不得意なので、そういった場面では、先輩職員方にたくさん助けてもらっている。

車いす使用の利用者さんが多い旅行で、食事場所までに急な長い坂道があったときはしびれた。食事会場のスタッフさんとも連携し、怪我のないよう安全に利用者さんの誘導に努めた。その際先輩をはじめとする学園職員の臨機応変な対応に、いたく感動したことを覚えている。(そこが胸を張って言える瑞穂学園の良いところである。)

学園の旅行の個人的な楽しみといえば、何といても豪華な食事である。  
食いしん坊万歳！の私は毎食をととても楽しみにしている。  
普段の食事が質より量だけあって、旅行の時に食べる質の良い食べ物たちは、どれも愛しくて仕方がない。  
利用者の方の喜ぶ笑顔も、素敵なお食事のスパイスになる。

旅行の担当すると、倍は疲れる。様々なところにいつも神経を張り巡らせているので、くたくたになる。そんなとき利用者さんから「旅行楽しかったね。また行こうね。」と笑顔で言われたら・・・どんな温泉より効能が良く、一瞬で疲れを癒してもらえる。大袈裟に見えるが担当をしてみたらわかると思う。これからも利用者さんが喜ぶのはもちろん、自分自身も楽しみながら、旅行担当を行っていきたいと思う。

